

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201043

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	学校環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成22年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	学校施設の適切な維持・管理	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
事業目標	小学校5校・中学校1校	関係例規・法令名		
住民参加 住民協働	2	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	学校施設の経年からなる外壁や塗装の剥離等の状況調査と塗装・改修工事の実施			各学校の状況調査	雄武中学校中庭側の外壁改修 各学校の状況調査 共栄小学校外壁改修 豊丘小学校道路舗装等改修	雄武中学校外側の外壁改修 各学校の状況調査 雄武小学校教室(1～3年生)黒板改修 沢木小学校プール地下排水管改修
計 画 事 業 費	事業費(千円)	66,590	0	0	32,380	34,210
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	66,590			32,380	34,210
実 績 事 業 費	事業費(千円)	64,103	0	0	31,448	32,655
財 源 内 訳	国庫支出金	18,245			8,359	9,886
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	45,858			23,089	22,769
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 学校施設環境改善交付金 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 各小中学校状況調査 ※前年度評価結果	(実施内容等) ・豊丘小舗装等改修工事 ・共栄小外壁改修工事 ・雄武中中庭側外壁改修工事 ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 雄武小学校スライド黒板設置工事 雄武中学校外側外壁改修工事 ※前年度評価結果 A-継続/拡充
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値		6校	6校	6校
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97%
		全体達成率	0%	0%	0%	47%
		事業進捗状況		☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	学校環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童・生徒・教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	状況調査を行った小中学校数及び補修工事数								
【抱える課題やニーズは】	学校施設の老朽化に伴い、学校施設の内外部の整備が必要となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	危険箇所の修繕による安全性の確保及び老朽設備の改修による学校施設の充実に図る。	① 小中学校数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6校</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6校</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	6校	実績値	6校	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	6校										
実績値	6校										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	学校施設の適正維持と適切な学校環境の推進を図る。	② 補修工事数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2工事</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2工事</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	2工事	実績値	2工事	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	2工事										
実績値	2工事										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。									
	工事施工	教育環境を維持するために各種工事を発注しています。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	学校施設において、安全性の確保は、最優先事項であり、また、学校施設の充実に図るための施設改修の実施は必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	各小中学校の状況を把握し、修繕、改修等を実施することにより、学校施設の安全性の確保及び学校環境の推進が図られていると判断します。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業の実施にあたり、国から交付金の交付を受け、可能な限りの町負担額の抑制に努めています。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

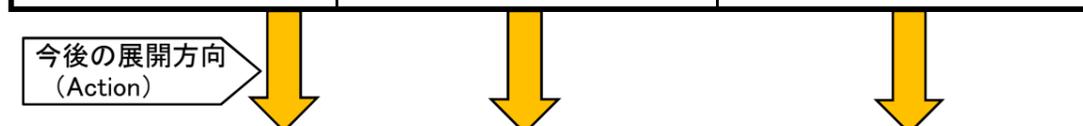
公平	判断の理由	全学校を等しく調査しており、優先性、緊急性を考慮し、対応しており、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
国(文科省)の補助事業として計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
調査検討結果を踏まえ、今後も必要かつ適切な修繕を行うとともに、学校施設の経年劣化に起因する改修整備等は、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止